
ゼロの使い魔in飛天御剣流 後継者平賀才人

TERU

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼロの使い魔 in 飛天御剣流 後継者平賀才人

【コード】

N16320

【作者名】

TERU

【あらすじ】

飛天御剣流後継者の平賀才人の冒険物語です

プロローグ（前書き）

飛天御剣流を使い様々な困難に立ち向かっていきます。

プロローグ

その日、平賀才人は秋葉原を歩いてきた。いつもやっている日課の剣道の稽古の帰りにパソコンの修理を頼んだ店にパソコンを取りに行ったのだった。そして才人は、今日ようやく念願の日本刀を買えたのだった。この刀を買うため才人は涙ぐましい努力をしたのだった。

「ようやく
手に入れた……。花月長かつたあゝ」

本来ならば先祖が使っていた刀を受け継ぐはずだったのだが、その刀は歴史の中で突如姿を消したのだった。

才人

の実家の平賀家は飛天御剣流の後継なのだった。本来ならば先祖が使っていた刀を受け継ぐはずだったが、その刀は歴史の中で突如姿を消したのだった。仕方なしに才人は己の刀を手に入れる為、学校が終わるとバイトに明け暮れた。まあこうして刀を所持してるだけでも銃刀法違反全開なのだが気にしないで頂きたい。

「ノートパソコンも受け取った
し念願の刀も買えた。まだ時間もある、どうしたもんかな？」

何をしよ

うか考てる間に目の前に鏡のような物が宙に浮いていた。

「何だ、これ？」

才人も、やはり人の子。目の前にある不思議なものに興味深々。……っが 今回はそれが原因で……

「なんだ？中には入れるみたいだな。あれ中は真つ暗じゃん？」

何も無いの

で出ようとした、その瞬間！なんと表現したらいいか、とりあえず吸い込まれるような強い吸引力で引つ張られ。

「えっ！？ちよっ！？何これ！

！ええええっ！？ええええええっ！？」

何とも情け

ない叫びを残し、この日、平賀才人は地球から、その姿を消した。

プロローグ(後書き)

才人の不幸 いやいや冒険は、ここから始まる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1632o/>

ゼロの使い魔in飛天御剣流 後継者平賀才人

2010年10月13日14時38分発行